

## 米水津地域 コミュニティだより №6

### 第3回 運営委員会

令和5年1月10日（火）

12月に実施した日田市中津江村の視察研修を振り返り、視察で学習したことを委員で意見交換しました。

また、1月17日の考える会で話し合う内容を検討しました。

#### 【中津江村での視察に関する意見交換】

- ① 米水津では、今すぐコミュニティ組織が必要なのか？ただ、近い将来必要になる。佐伯市が力を入れている今回の機会を利用して組織設立に向かうべきだと思う。
- ② 大きな目標はつかみにくい。細かい目標設定が大切ではないか。「子どもが住みたい地域にするのか？」「高齢者が安心して暮らせる地域にするのか？」など、具体的な目標設定が大切では。
- ③ まずは、小さい問題から、例えば子どもができれば100万円交付するとか、変わったものを打ち出したらどうだろうか。
- ④ 時間が足りなかった。もっと質疑応答の時間が欲しかった。昼食を中津江村の人と一緒に取ればもっと話げたのに…。
- ⑤ 米水津の中でも、いろいろな団体が福祉活動などに取り組んでいる。その団体をまとめることがポイント。どうやったらあんなに協力的にできるのか。
- ⑥ そもそも10年後に小学校は存続しているのか？
- ⑦ 住みたいのは住みたいが、このままでは住みにくい地域になると思う。
- ⑧ 米水津地区の人が離れることが当たり前ではなくて、交通機関の充実により、病院や買い物気楽にできるようになれば住みやすい地区になる。自然環境や高齢者等の支援体制はいい。
- ⑨ もっと米水津の良さをPRして、例えば空き家を整備して貸し出すことなどをやれば、少しずつでも移住者が増えてくると思う。
- ⑩ 今は、組織を作るかどうかを決める段階。組織の具体的な内容は、組織を作ることが決まってからになる。（事務局）



## 第6回 「考える会」を開催しました!

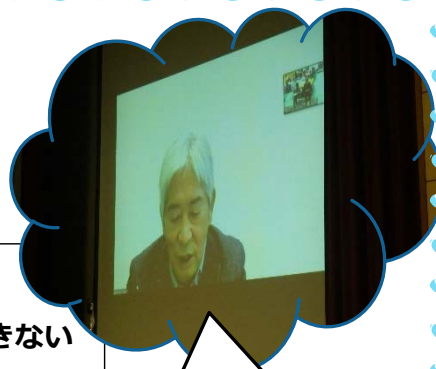
R5、1、17 米水津地区公民館

【リモート研修】白杵市南野津振興協議会（寺子屋ん会）

### 「寺子屋ん会」設立の経緯（趣旨）

高齢化が進む中、当時あった個々の組織における活動が継続できない状況になりつつありました。

平成22年、地域振興協議会「寺子屋ん会」の設立により、各団体・組織が一つになり、協力し合い積極的かつ継続的に、地域の子どもから高齢者まで全員を巻き込んだ活動を展開しています。



オンラインで説明する  
寺子屋ん会事務局  
吉高省三さん

南野津地域の概要や組織設立の経緯などを説明していただいた後、意見交換をしました。

【質疑・応答】（一部）

Q：個々の組織とはどういう組織ですか？

A：区長会・PTA・老人会・民生委員会など。寺子屋ん会ができるまで、まとめるところがなかった。



Q：寺子屋ん会が発足して、新たに始めた事業は。

A：新たな事業はイルミネーションくらい。ただ、振興協議会になる事によって各団体で協力して行えるようになった。



Q 地域の活性化のためにやってきたことは？

A 次の世代につなげるために、幅広い世代に関わってもらえるようにしている。



### 住民アンケート：ご協力のお礼

昨年末に実施しました「地域住民アンケート」では、地域の皆様方のご協力により回収率64%を達成することができました。年末のあわただしい中、各地区の区長及び班長の方々には大変お手数をおかけしました。ご協力ありがとうございました。集約結果は今後のコミュニティだより等でお知らせしていきます。

米水津地域 新たな地域コミュニティ組織を考える会 事務局